

# 晴耕雨読 47

発行:株式会社 建設プロジェクトセンター  
 建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業・地質業登録  
 〒869-1234  
 熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)  
 本社:熊本市/八代支店/合志営業所  
 TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885  
 E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp



## 私たちがおすすめスポット

「秋高馬肥」(しゅうこうばひ)は、爽やかで心地よい秋を表す言葉です。気持ちの良い秋になると、馬も良く餌を食べてたくましくなることから、この四字熟語ができ、元は秋の収穫の後で、中国の北部から騎馬民族が攻め込んでくる季節のこと。

### 菊陽町の「堀川ピッツァ」

オーナーさんは本場イタリアで修業され、地元である菊陽町で1年程前から、本格ナポリピッツァのお店をオープン。イタリア製の薪窯で焼かれるピッツァは、絶品!!菊陽町ということもあり、人参を使った「キャロットラペ」というサラダは外せない一品でした。また、子ども達のピッツァ体験もされていて、自分で作ったピッツァは格別!テイクアウトもOKなので、今からの季節には特にオススメです★☆☆T/B

### 昼と夜で表情が変わる紅葉



県庁ノイチョウ並木(昼) ライトアップ

ご存知かと思いますが、熊本県庁のイチョウ並木です。黄金色のイチョウの葉が地面に敷き詰められとても綺麗です。私は休日に行きましたが、すでに多くの方が訪れていました。夜のライトアップの美しさも格別でした。1/0

### 美里町♥の石橋↓↓



完成した二俣福良渡から見える♥の橋

### スポーツの秋を楽しむ



秋と言えば、スポーツより「食」の方だった私ですが、次女の部活(バスケット)に刺激を受け、重たい腰がどうにか動き始めたところです。走ると足が絡まり、2分ほどで息切れています。体を動かすと、自然と笑みが出るのは、スポーツの力でしょうか?T/B

左記の記事でも紹介しました、美里町の「二俣福良渡」の復旧工事が終わり、あのハートも復活です!!さし込む日の光や見る場所によって形も変わるので、ぜひ見に行かれて下さい!!また、左岸側にある♥ストーンを見つけてみて下さい!!

### 秋の訪れ...



### 岡山備前地区の閑谷学校



江戸時代の寛文10年(1670)岡山薩主池田光政によって創建された。日本でははじめてとなる「庶民のための学校」だったそうです。楷の木は学問の木です。



右写真は閑谷学校の講堂の床です。まるで鏡の様に、輝いています。閑谷学校 講堂

Vol 47 Nov 2017 seikoudoku

天高く馬肥ゆる秋になりました みなさん如何お過ごしでしょうか?

## 秋



### ■ 伝統の真髄にふれる

伝統を守り・伝えるには、強い意志と意義をみんなと共有できなければ難しい。妙見祭の「菊茲童」は、雨が降ろうが嵐が来ようが何が何でも参加する山車とのこと。そんな祭りを企画した人はすごい!!H/N

平成29年4月14・16日の熊本地震で被災した、美里町の双子の石橋の弟(187才)が、約11ヶ月の歳月をかけて無事に復元。この石橋の復元過程をご紹介します。



お知らせ ■■■  
 【11月13日】発行の  
 コンストラクションに  
 二俣福良渡が掲載されました!!

- ①平成29年1月 工事スタート
- ②平成29年2月 輪石解体完了
- ③平成29年4月 新材の粗加工
- ④平成29年4月 輪石復元状況
- ⑤平成29年11月17日 完成写真
- ⑥銘板設置

●日経コンストラクション(P20~25)に弊社が紹介されました!! 写真⑥の石碑(銘板)は要石を再利用し、その文字色は後世へ伝えるために200年の深緑色を施しました。

## 高

## 身近な環境への思い

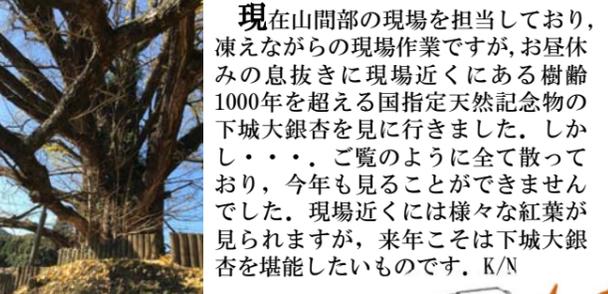
## Human Architectur

### ● 秋はやっぱり紅・黄葉です



何故、「紅葉」した葉は赤に、「黄葉」した葉は黄色に見えるのかご存知でしょうか?秋になり気温が低く、また日照時間が短くなると、温度も光も不十分のため光合成の効率が下がります。葉はそれ自体も養分を消費する。そのため、葉が生産する養分が消費する養分より少ない場合に葉を残すことは植物の生存にとって不利なので、落葉樹は秋になると、自ら葉を落とす準備を始めます。葉の緑(クロロフィル)は常に分解・再生産されることを繰り返す。再生産が抑制されると、分解だけになると、その結果、緑色が薄くなり、葉に含まれる他の色素の色が見えることで、紅葉する木は赤色の「アントシアニン」イチョウのような黄色は「カロテノイド」という黄色の色素が見えて来る営みによります。A/T

### ● 小国町下城の大銀杏



### ● 大草原に恐竜の卵出現??

阿蘇北外輪のヒゴタイロード周辺は、なだらかな丘陵地の原野で南に雄大な阿蘇五岳を望み、北には九重山系が見渡せ、のんびりと放牧牛が群がるのどかな眺望が素晴らしい阿蘇の主要な牧草地帯となっています。10月中旬、冬場の牛馬の飼料となる牧草の刈取りが最盛期を迎えていて、大型トラクターで刈り取った牧草は、暫く天日で乾燥させた後、ロール状に巻き取り白いビニールで被覆保存します。集積されるまでの僅かな期間、自然豊かな草原に突然出現する無数の白い球体は、遠くから眺めて太古時代のティラノサウルス等大型恐竜の卵がごろごろ点在する様子を連想させる景観となっています。皆さんも阿蘇の四季を楽しんでみませんか?B/I



モンタナ州の恐竜と卵化石 牧草ロール

### ● アンティークカラー



一輪挿しに紫陽花が引っ越してきました。淡く頼りなげです。今頃どうしてかと思い、電子の網ですくってみると、秋色紫陽花とアンティークカラーという言葉が引っ掛かりました。一緒に引っ掛かった蜻蛉が言うには、秋にくすんで艶がなくなっている状態を言い、最近その名前の品種が誕生したそうです。美しい言葉ですね。M/T



女性の好きなものとして「芝居、こんにゃく、イモ、タコ、南瓜」という言い回しが江戸時代(落語)からあったようです。N/S

## 身近な土木文化への思い

## Civil Engineering

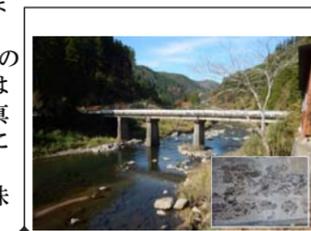
### ■ 天草教良木の田んぼアート

最近、天草の地すべり施設調査を実施している中で面白い場所を見つけました。それは、上天草市松島町教良木の山浦地区で有名な「田んぼアート」と呼ばれるものです。場所を案内する道筋には、お出迎えとして手作りの人形が飾られ、周辺の地すべり地帯でひと際目立つ存在でした。田んぼアートは、色の違う稲を使い、水田に巨大な絵画を描いたもので毎年10月中旬までが見頃です。今年の絵柄は、「下り竜」と「光」の文字の2種類で熊本地震からの復興への願いを託し、地元の高校生らが古代米など計5種類の苗を植えたもので、スプレーで色を付けたのかと思うほど完成度が高く芸術的な作品です。少子高齢社会を考える良いきっかけに!! T/M



### ■ 3Dモデル化を学ぶ

写真から3Dモデルを作る方法について専門家から学ぶ機会があり、石橋の3Dモデル作成に挑戦しました。最初に現地で石橋を撮影。初めて使う一眼レフカメラの焦点距離やISO感度などの設定に戸惑い、失敗写真を連発。また、明るさや対象との距離を一定にする、60%以上ラップ(重複)させる等、3Dモデルのための撮影ルールに苦労しました。撮影後はソフトの使い方を学び、ソフトが複数の写真の差異を読み取り、立体を構築していく様子に驚きました。近年、「i-Construction」をキーワードに新しい技術が登場。今後も興味を持って接したいと思えます。K/S



### ■ 熊本の鋼橋 (No.11)

【①俵山大橋の解体】と【②大切畑大橋の上部工修復開始】  
 ①俵山大橋のA1&A2橋台の外側にケーブルクレーンの鉄塔が設置されている。すでにコンクリート床板が撤去済である。これから、鋼桁の撤去が始まる。俵山大橋の横には作業構台が設置され、作業用通路や今後迂回路として使用することも検討されている。  
 ②大切畑大橋は、下部工の修復が終わり、上部工の修復に着手した。両側の橋台部に大規模なベント(支保工)が設置されている。橋脚の周りに大型ベント(支保工)が設置されたのち、来年4月頃から鋼桁全体の横移動が始まる。大切畑大橋は、地震の揺れで橋全体が横方向に約1m程度移動している。N/S



### ■ 山間地の橋の特色

熊本県北部の山間地に位置する橋梁の点検業務の損傷の中、特に印象に残ったのが凍害です。凍害はコンクリート内部の水分が凍結・融解を繰り返すことによって発生する損傷で、今回橋梁点検を行った地域は、気温が低く凍害が発生しやすい地域といえます。また、日光の当たりやすい箇所に損傷が多くみられたため、日照によってコンクリート内部の凍結・融解が進行したと考えられます。今回の橋梁は、周辺の環境が損傷に影響したわかりやすい例としてとても勉強になりました。K/I

■後記: 熊本地震から復興に向かって少しずつ足跡が見え始めました。復興の過程をスケッチや写真で伝える機会にもなりました。水源が枯れた南阿蘇村の塩井社水源など暮らしや風景が変わった地域もあり、その現実を伝えるべきことが沢山あります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は職員の協力で発行しています。